

【シラバスⅡ】令和8年度 評価規準

教科名 理科		科目名 化学基礎		
時期・単元	内容のまとめり	知識・技能	思考・判断・表現等	主体的に学習に取り組む態度
(7月) 1章 物質の構成	1章 1節 物質の探究 2節 物質の構成粒子	<ul style="list-style-type: none"> 物質の構成粒子や量的関係に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。 分子運動と物質の三態との関係から、代表的な物質について、常温、常圧での状態を理解し、知識として身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 原子は原子核と電子からなっていて、電子の状態が物質の性質に大きく寄与していることを推論できる。 物質の状態変化は、構成粒子の分子運動に関係し、それが温度や圧力によるものであることを論理的、総合的に判断できる。 周期表から大まかな性質が判断できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 物質に関心をもち、物質が原子・分子・イオンなどの構成粒子からなっていることを探究しようとしている。 物質の状態変化の現象について、粒子の運動と関連付けて探究しようとする。
(12月) 2章 物質と化学結合	2章 1節 イオン結合 2節 共有結合と分子間力 3節 金属結合 4節 化学結合と物質	<ul style="list-style-type: none"> 物質の構成粒子や量的関係に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。 分子運動と物質の三態との関係から、代表的な物質について、常温、常圧での状態を理解し、知識として身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 物質の性質は、イオン結合、共有結合、金属結合などの結合の違いによって異なることを、代表的な物質の性質の比較から推論できる。 それぞれの物質について、結合によって区別することができる。 それぞれの物質の性質を結合と関連付けて考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 物質の構造は、イオン結合、共有結合、金属結合などの結合の仕方の違いに関わりがあることを、意欲的に探究しようとする。 それぞれの結合とその結晶について、正確に区別し探究しようとする。
(3月) 3章 物質の変化	3章 1節 物質と化学反応式	<ul style="list-style-type: none"> 化学式を使用できるとともに、原子量、分子量、式量と物質量の知識を身につけている。また、物質量の概念を用いて、化学変化の量的関係を把握する方法を理解し、知識を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 原子量・分子量・式量と物質量の定義を理解し、物質量を用いた基本的な計算ができ、化学変化には一定の量的関係があることを考察できる。 考察して導き出した考えを的確に表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 代表的な物質の化学変化に注目し、化学変化の量的関係を物質量と関連付けて考察しようとするとともに、意欲的にそれらを探究しようとする。
主な評価方法		定期考査、提出物など	定期考査、提出物など	定期考査、出席状況など
その他				